

# TEAM JEW<sup>※</sup>で取り組む脱炭素経営

※JEW JOYO ELECTRIC WORKS (社名英語表記) の略

## 常陽電機工業株式会社

(製造業 / 従業員数 84 名 / 令和 6 年 11 月より利用 / 令和 6 年日立市ゼロカーボンアクション表彰受賞)

来年、創業 80 年周年を迎える常陽電機工業株式会社。重要な社会インフラを担う上下水道や発電所、鉄道などの分野の制御盤や操作盤の設計から製造、検査までを自社工場で行うワンストップ体制を実現しています。

社会インフラ分野で求められる高い品質に応えるため、社内教育や職場環境の向上に注力しているほか、脱炭素社会の実現に向け、CO<sub>2</sub> 削減施策の実施や社員の意識改革など全社員一丸となり、脱炭素経営に取り組んでいます。

この度は、常陽電機工業株式会社の皆様に脱炭素経営への取り組み状況についてお話を伺いました。

### -御社がシステムを導入したきっかけを教えてください

当社は「循環型社会を推進する環境経営」を経営理念の一つの柱として、脱炭素化に取り組んできました。

これまでも、エネルギー使用量をエクセルで管理していましたが、エネルギー使用量の年度比較や増減分析まではできており、CO<sub>2</sub> 削減を戦略的に実施するためシステムの導入に至りました。

### -御社の脱炭素への取組状況について教えてください

「見える化」したエネルギー使用量、CO<sub>2</sub> 排出量は部課長会議や、社内イントラで周知しているほか、新入社員研修等で積極的に周知しています。会社が一体となって脱炭素を取り組む姿勢を見せることで、社員の意識改革（節電、ごみの削減）につながっています。

CO<sub>2</sub> 削減に当たっては、昨年度日立市の「脱炭素設備導入促進事業補助金」を活用して照明の LED 化を実施し、今年度は電気自動車を 2 台導入しました。

今後も具体的な削減目標を設定し、全社員一体となって脱炭素経営に取り組んで行きたいと思います。

### -利用を考えている皆さんに一言お願いします

導入にあたっては、操作説明会を定期的に開催していただいているので、スムーズに利用を開始できました。

エネルギー使用量の「見える化」で得られることは多く会社が一体となって脱炭素を取り組むきっかけになるためおすすめです。

### -本日はお話をいただきありがとうございました



社員の皆さん

TEAM JEWで取り組む脱炭素経営  
～2050年カーボンニュートラルを見据えて～

2025年4月2日 新入社員研修

JEW 常陽電機工業株式会社

新入社員研修資料



令和 7 年度導入の電気自動車